



左から伊川京子大村市議会議長、園田裕史大村市長、門脇市長、青柳市議会議長。

## 仙北市・大村市姉妹都市提携40周年 さらなる友好関係を確認

昭和54年7月18日に仙北市と長崎県大村市が姉妹都市の提携を結んでから今年で40周年となります。これを記念し、9月8日に角館交流センターで記念式典が開催され、大村市から80人、仙北市から67人の関係者が出席しました。

門脇市長は「今回の40周年交流事業を通じ両市のご縁をこれまで以上に強固なものとして結び合い、辛いこともうれしいことも分かち合い、ともに未来を拓くパートナーとして、未永いお付き合いを続けたい」とあいさつ。

また、園田大村市長は「40周年を振り返ると親子3代にわたって令和元年につながっていると改めて感じている。仙北市・大村市姉妹都市40周年のつながりを、これまで先輩たちがずっと築いてきてくださったことをここに集う皆さんと振り返りながら、今後も未来に向けて50年、100年と続けていきたい」とあいさつしました。

式典の最後には、これまでの歴史的背景を再確認し、未来に向かって両市民の友好関係、市政をさらに発展することを確認するため宣言書の調印を行いました。

記念式典後には角館温泉花葉館で交流会が開かれ、大村市出身のシンガーソングライター「カッルミ」さんの歌と仙北市のバンド「平かずみとスイングチェリーズ」のコラボが披露されるなど、盛り上がりしました。



## 角館祭りのやま行事

「山・鉾・屋台行事」の一つとして、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録されている「角館祭りのやま行事（角館のお祭り）」が、9月7日から9日まで行われました。

9月にもかかわらず気温が上がり、暑い中での開催となった今年、各丁内から武者人形や歌舞伎人形を飾った18台の曳山が7日、角館總鎮守神明社を目指して出発しました。

8日は、御座所（表町）で佐竹北家当主にすべての丁内

がおやま囃子と艶やかな手踊りを披露、夕方からは観光用のやまぶつけが行われ、JR東日本のクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の乗客もその迫力を堪能しました。

最終日の9日は、成就院葉師堂参拝を終えた曳山同士が道で出会うと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返し、決裂すると実力で通る本番のやまぶつけが行われ、その迫りに詰めかけた多くの観客から大きな歓声が上がりました。



本番の「やまぶつけ」は大迫力。



佐竹北家当主に艶やかな手踊りを披露。

## いざ！という時のために 仙北市避難訓練

8月10日、角館町小勝田地区を対象に避難訓練を開催しました。

前日からの大雨により増水した桜木内川が氾濫し、堤防決壊の危険が迫ったことから、同地区に避難勧告が発令されたという想定で、地区内の住民約100人が参加し、各自の避難経路を確認しながら訓練を実施しました。

避難先となった角館中学校体育館では、避難所で使用するスリッパを新聞紙で製作する体験や非常食の試食に加え、消火器の操作講習なども開催し、災害時の心構えを再確認していただきました。

今回の避難訓練では、要配慮者避難支援訓練も実施し、救助する側も避難支援について気をつけなければならないことなどを実践により確認できたことで大変有意義な訓練となりました。



非常食を試食する参加者。

## 第43回 きたうら水泳競技大会

8月25日、角館小学校プールで「第43回きたうら水泳競技大会」が行われました。当日は市内の小中学生など132人が参加し、練習の成果を発揮しました。

主な成績は次のとおり。〈敬称略〉（ ）は所属。

【最優秀選手賞】木元晴樹（西明寺プラッシュ）  
【優秀選手賞】木元ひなた（西明寺プラッシュ）  
菅原康太郎（アクアスポーツ少年団）  
【特別選手賞】水平讓翔（角館小）  
石川才稀（神代小）



## おやま囃子コンクール受賞者決定

9月8日、佐竹北家上覧時に、各丁内の曳山が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。

厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。（敬称略）

【囃子部門】  
▼最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞） 中央通り 奏雅扇舞会代表 藤井哲也  
▼優秀賞（田沢湖・角館観光協会賞） 横町若者 角館山本組代表 山本善昭  
▼優秀賞（仙北市商工会賞） 西部若者 秋月会代表 藤原勇悦

【手踊り部門】  
▼最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞） 駅通り若者 藤美会代表 藤原ミサ子  
▼優秀賞（田沢湖・角館観光協会賞） 西部若者 藤美会代表 藤原ミサ子  
▼優秀賞（仙北市商工会賞） 横町若者 渡部幸子社中代表 渡部幸子



9日に角館祭りのやま行事実行委員会本部前で実施した表彰の様子。

第18回北東北小学生選抜ソフトテニス大会

熱戦を制し見事48ペアの頂点に



優勝した高橋優斗さん(右・角館小6年)と佐藤大颯さん(左・大曲小6年)ペア。

9月1日、第18回北東北小学生選抜ソフトテニス大会が盛岡市太田テニスコート(右手県)で開催され、大曲ジュニアの高橋・佐藤ペアが優勝に輝きました。青森県、岩手県、秋田県から出場した48ペアにより行われた今大会、高橋・佐藤ペアは男子個人戦で、安定したプレーで順当に勝ち進み、見事48ペアの頂点に立ちました。

8月10日から13日まで、あきたスカイドーム(秋田市)で開催された「第36回読売全県さわやか選抜野球大会」で、西木jr.B.C(ジュニアベースボールク

西木 jr.B.C が初優勝  
先制点の勢いそのままに



笑顔で優勝の報告をしてくれたキャプテンの藤村壮汰さん(右・西明寺小6年)と副キャプテンの菅原颯空さん(左・松木内小6年)。

ラブ)が全県優勝を果たしました。西木jr.B.Cは、西明寺小と松木内小の合併チームで部員は20人。23チームが参加した今大会で西



木jr.B.Cは、1回戦から先制点を取る有利な試合運びで順調に勝ち進み、準決勝で太田東(大仙市)を5対1、決勝では大住(秋田市)を10対3で下し、念願の初優勝を飾りました。9月2日、市役所田沢湖庁舎に優勝の報告に訪れたキャプテンの藤村壮汰さんは「先制点を取ることができるとこのチームの強み。北東北大会では優勝できるようにみんなで最後まであきら

めずに頑張りたい」と力強く抱負を語ってくれました。優勝した西木jr.B.Cは、9月7日・8日にニプロ八チ公ドーム(大館市)で開催された「第2回北東北交流学童野球大会」に秋田県代表として出場しました。



「かなこ号」を出陳し、「農林水産大臣賞」を受賞した小原さん。

第97回秋田県畜産共進会  
農林水産大臣賞を受賞

8月25日、あきた総合畜産市場(由利本荘市)で開催された「第97回秋田県畜産共進会」で小原洋一さん(田沢湖小松)の「かなこ号」が、肉用牛の部で最高位賞の「農林水産大臣賞」を受賞し、9月10日、市役所田沢湖庁舎に報告に訪れました。

小原さんは、40年以上にわたり、和牛を飼養しており、複合経営でリンドウやケイトウ、「西木フワロード」へ植栽するマリゴールドの苗などの生産もされています。花き栽培のご多忙のかたわら、畜産共進会へ出陳する「かなこ号」への手入れや管理も欠かさずに丁寧に続けてこられ、今回の受賞に至りました。

報告に訪れた小原さんは「かなこ号は大仙市の農家から導入した牛で、生産農家も共進会当日の応援に来てくれて大変ありがたかった。今後は自家産の牛も共進会に向けて改良をすすめたい」と話しました。

グリーンツーリズムの推進に  
地域おこし協力隊  
東風平 詩人さん

9月1日、仙北市の地域おこし協力隊として、東風平詩人さんが着任しました。西木庁舎の農山村体験デザイン室に籍を置いて、インバウンド対応も含めたグリーンツーリズム推進などに取り組みます。

東風平さんは、沖縄県出身の22歳。父親の仕事の関係で6歳から13歳までネパールで過ごしていた時期も。国際教養大学に進学後は、教育分野に関心を持ち、特に教育の環境が整っている秋田で農山村などをフィールドにした教育旅行のプログラムを手がけたいと思ったそうです。



地域おこし協力隊  
初めまして!  
国際交流員

外国人観光客などの対応に  
国際交流員  
黄敏さん

増加する台湾人観光客の受け入れや海外に向けての情報発信、通訳業務などを担う国際交流員に台湾人の黄敏さんが9月1日着任し、現在は中町庁舎の国際交流推進室で業務にあたっています。

台湾の桃園市で生まれ育った黄敏さんは、台湾芸術大学在学中に映画撮影を学びながら独学で日本語を勉強。多摩美術大学(東京都)に短期留学していた昨年の冬、旅行で仙北市を訪れ、そこで目にした雪景色や地元の温かい人柄に感動、魅力を感じたそうです。

黄敏さんは、「大学で学んだ映像制作の経験を活かしながら、仙北市をさらに観光のまちとして賑やかにしていきたい。世界中から観光客が訪れるように頑張りたい」と目を輝かせていました。



太宰治や夏目漱石などの直筆原稿を展示  
巡回展 矢来町のたからもの  
佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き

9月2日、新潮社創業者・佐藤義亮の二男俊夫の家に伝わる旧蔵資料を展示する巡回展「矢来町のたからもの」佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」が新潮社記念文学館で開幕し、オープニングセレモニーが行われました。

この巡回展は、佐藤元会長の遺品にあった「葉亭四迷、島崎藤村、太宰治、夏目漱石ら文豪と呼ばれた作家たちの原稿や書簡など、数々の直筆資料を展示するもので、昨年開催された公益財団法人日本近代文学館の受贈記念展の



オープニングセレモニーには、中島専務理事(左から2人目)のほか、佐藤元会長の親族(左から3人目・4人目)も出席しました。



太宰治の「斜陽」や夏目漱石の「倫敦消息」の原稿のほか、石川啄木の書簡など数々の貴重な資料が展示されています。この機会にぜひ鑑賞ください。

初の巡回展になります。オープニングセレモニーに出席した日本近代文学館の専務理事で編集委員を務めた中島国彦氏は「一点一点すべてが『たからもの』で、見ているとそこから色々なことが広がってくる。角館ゆかりの資料をぜひ楽しんで欲しい」と話しました。

会期中の10月6日(日)13時30分からは、中島氏の記念講演が行われます(定員50人、申し込みは新潮社記念文学館 ☎43-3333まで)。

|     |  |
|-----|--|
| 会期  | 10月20日(日)まで(休館日は祝日を除く月曜日)              |
| 時間  | 9:00～17:00(入館は16:30まで)                 |
| 入館料 | 一般(高校生以上)300円<br>小人(小中学生)150円 ※仙北市民は無料 |
| 問合せ | 新潮社記念文学館 ☎43-3333                      |